

トゲクリガニ

陸奥湾海域

Telmessus acutidens

地方名
はなみがに



生態

- ①寿命：不明
- ②成熟：甲長50mm以上
- ③産卵期：9月～12月。産卵期は水深の浅い藻場や小砂利場に分布する。抱卵したメスガニは砂等に潜ってあまり移動しないので、ほとんど漁獲されない。オスはメスと交尾すると生殖孔に交尾栓を植えて、他の雄が交尾できないように蓋をする。
- ④分布：冷水性のガニで太平洋側では北海道南部から東京湾、日本海ではサハリン南部から朝鮮半島南部。
- ⑤生態：12月から翌3月頃にふ化する。その後、脱皮と変態を繰り返し、2月から5月にかけて親ガニとほぼ同じ形となり、底生生活に移行する。ムラサキガイ等の二枚貝を捕食するため、他県では麻痺性貝毒の発生が見られる。
- ⑥成長：メスオス共に満1歳で甲長約50mm。メスは満2歳で甲長約60mm、満3歳で甲長約70mm。オスは満2歳で甲長約69mm、満3歳で甲長約94mm。

主な漁業

籠、さし網によって周年漁獲される。「さくらがに」「はなみがに」、と呼ばれるように漁獲のピークは4月～5月。

漁獲の動向と水準

トゲクリガニの漁獲量は、昭和61年の137トンを経営に減少し、平成9年以降40～80トン前後で推移していた。平成29年の漁獲量は前年を上回り54トンであった。

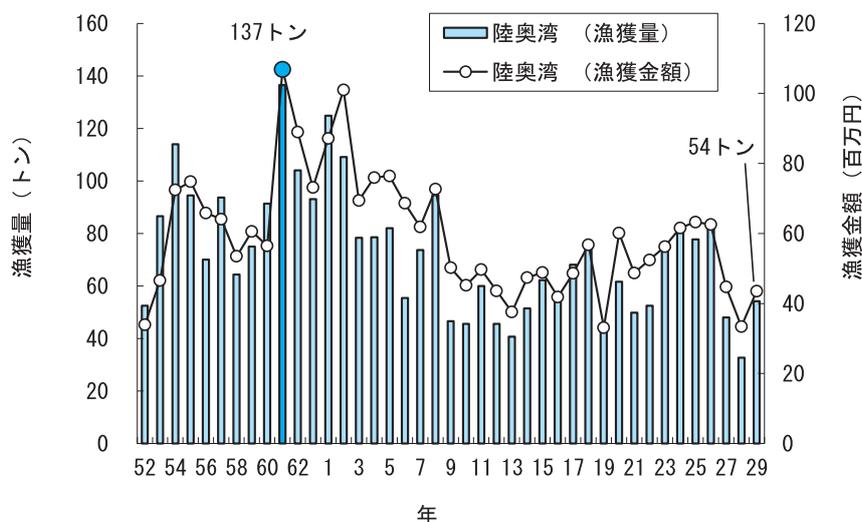


図 青森県陸奥湾海域におけるかに類の漁獲量及び漁獲金額の推移
※トゲクリガニ以外のかににも含む数値。陸奥湾では大半がトゲクリガニ。



資源を上手に利用するために

- 資源管理計画（陸奥湾海域 平成12年3月）
 - ・オス甲長7cm未満、メス甲長6cm未満個体、水ガニ（脱皮直後の個体）の再放流などを定めた。
- ☆上記の取組を継続することが必要である。